

第7期東京都自立支援協議会（令和3・4年度）のテーマ等について

■ テーマ（案）

都と地域の協議会活動における情報共有を促進し、当事者とともに地域課題への取組を考える

■ 令和3年度活動方針（案）

当事者の視点に立った地域課題を検討する

活動の方向性

- 「障害や難病のある方々の様々な思いやニーズを聴き、個別の課題として解決できない課題を地域の課題と捉え、障害のある人もない人も一緒に地域づくりを協議する」という大前提に立ち返り、当事者の思いや視点に立った地域課題や協議するテーマを設定する。
- 交流会、セミナー、動向集等を活用し、積極的な情報発信を行う。
- 地域自立支援協議会のリアルな情報（課題や課題解決に向けた創意工夫等）を収集し、各地域自立支援協議会と情報共有する。

実施策

- 交流会、セミナー、動向集を活動の柱とし、協議会委員による実行委員体制とする。
- 協議するテーマや課題等を設定し、少人数のグループ（実行委員のグループ）ごとに協議する。
協議に当たっては、オンライン会議、メーリングリスト等を活用する。
- 協議した内容等について、交流会、セミナー、動向集を通じて発信し、地域の協議会や都民等と情報共有する。
- 交流会、セミナー、動向集の開催・発行後は、その結果を踏まえ、引き続き、実行委員のグループで協議し、第2回本会議に持ち寄る。
- 第2回本会議では、委員全員で協議する。